



加茂市租税教育推進協議会長賞

生活を支える税金

加茂市立若宮中学校 三年

諸橋 もろはし

希海 のぞみ

「税金って、多いし高すぎる。」最近、税をテーマにしたテレビ番組やニュースが増えたと思います。家族とも、買い物をした時税金について話すことがありました。色々な意見が出る中、この意見は必ず聞こえてきます。そこで私は思いました。よく税金は、人々の生活や暮らしを支えるものとして言われているけど、具体的にどのようなように、税金が生活を支えているのでしょうか？

そもそも税金とは人々が協力して暮らしていくために必要なお金です。そのお金がどのように活用されているのか、私は医療の観点から税金について調べ、考えました。数ヶ月前、今は無事退院しましたが、私の祖母に急な入院が決まりました。最初はとても不安でしたが、手続きに行ったお父さんから病院では保険制度やその他の支援が整っていることを聞きました。家族共々、安心して待つことができました。病院に検査に行ったら即入院が決まったので、可能性の話ですがもう少し病院に行くのが遅かったら救急車で搬送されるぐらいの事態になっていた

かもしれないです。こういった時、救急車を呼ぶことができ、救急車の利用に直接のお金がかからないのも、税金で支えられているからです。もし治療などすべてのお金が自己負担だったら、私の家族にとって金銭的にも心労的にも大きな負担になっていたはずです。さらに、私たち学生が学校で健康診断も、税金のおかげで行われていると知りました。自分の体調やアレルギーを知り、早く病気を見つけることができるのも、社会全体で助け合っているからこそなんだと思いました。

祖母の入院や救急車についてや学校の健康診断を通して、私は医療の中に税金の存在と力を強く感じました。医療の安心は税金が深く関わっているんだと思いました。最近震災について大きな話題がありました。調べたところ、被災した地域の復旧や避難所の整備にも税金が使われることを知りました。特に日本は地震が多い国なので、その分被害も多くなってしまう。税金は、安心ができる生活を取り戻すためにも活躍しているんだと思いました。これら全てをふまえて、私は税金は多いし高いとも思うけど、人が安心して暮らせる場所を守るために必要なものだと思います。この社会全体を守る大切な仕組みを、将来税を納める立場になってもつづけていきたいです。これからは税金への感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。